

富山空港では、校長先生始め、先生方、保護者の皆様にお集まり頂き、盛大な出発式となりました。校長先生からは、グローバル社会に必要とされる自己発信力を身につけ、失敗を恐れずに挑戦することなど、励ましの言葉を頂きました。生徒代表の坂上君からは、「アメリカでは積極的に行動すること、文化の本質に触れること、自分をアピールすること」を先生方や保護者の方に向けて決意の言葉として伝えました。送ってくださる皆さんに別れを告げ、いよいよアメリカに向けて出発です。

富山空港から羽田空港に向かい、バスで成田空港に移動しました。涼しかった早朝の富山から一変、うだるような暑さの中を重いスーツケースと共に成田に到着、すぐにチェックインが始まりました。セキュリティチェックも問題なく進み、期待と共にアメリカ行の飛行機に乗り込み、向かうはボストンへの乗り継ぎ地であるニューヨークのニューアーク空港です。機内では体調不良になる生徒もおらず、映画を見たりゲームをしたり、皆さん思い思いに過ごしていました。ニューアークで飛行機を乗り換え、目的地であるボストンに向かう…はずだったのですが、定刻を過ぎても飛行機に搭乗が出来ません。30分、1時間と時は経ち、2時間を超える頃に、ようやく飛行機に乗り込むことが出来ました。ここまで緊張の糸を貼り、集中して行動してきましたが、このハプニングには少し戸惑ったようです。しかし、これがアメリカ。全てが予定通りには進みません。そんな中でも、この状況を楽しんでいる生徒もいました。搭乗を待つロビーで隣に座った乗客と会話をする、CAの方にこの旅の目的を話す姿が見られました。研修中は一時間、一時間がとても貴重です。どんなチャンスも無駄にしないという意気込みが伝わってきました。

眠い目をこすりながら、ボストン大学の学生寮に着いたのは深夜0時を過ぎていました。出迎えてくれた語学学校 ELC のスタッフからは、ウェルカムドリンクと共に、大きなピザを頂きました。部屋の鍵やリネンを預かり、短いオリエンテーションを済ませ、各自の部屋に向かいました。明日はレッスンの初日、午前中にはプレイスメントテストが実施されます。寝不足と疲労がたまっているとは思いますが、ベストな環境ではない状態で、いかに自分の力を出しきるのか。ここからが勝負です。以上、本日のご報告とさせていただきます。

成田空港出発前



ボストン空港到着



ELC スタッフのオリエンテーション



真剣に話を聞きます



ウェルカムピザ

